

自然と人と命が輝く 里山

つるがしま里山だより

2006
NPO設立記念号

2002-2006の歩み



特定非営利活動法人

つるがしま里山サポートクラブ



NPO設立記念号に寄せて

代表理事挨拶

Chairman's Message

つるがしま里山サポートクラブは、この市民の森の維持管理活動を中心に、市内の里山の維持保全活動に取り組み、民有樹林地などの手入れなども実施しています。

また、豊かな自然が市内にあることを市民にPRするため、清掃活動や里山での各種イベントを実施し、市民の里山体験を通じて、自然の大切さ、生きる力などの学習を進めています。

鶴ヶ島市は1981年、当時の町誌編纂室がわが町の資源である緑の保全に関し、町内の植生を学術的に調査する必要から横浜大学の宮脇研究室へ調査依頼した経過があります。5年後の1986年には第2回の植生調査を実施しております。その後、調査結果は、鶴ヶ島市で策定した緑の基本計画などに結実され、その後の里山の保全・再生への取り組みは進んでおります。

具体的な取り組み内容として、鶴ヶ島市は、地域の里山を保全するため、里山の地主さんと固定資産税相当額による長期契約(20年)を結び、契約した里山を「市民の森」として公開してきました。

この「市民の森」の維持管理を市民活動団体にとの呼びかけから、2002年につるがしま里山サポートクラブ準備会が設立され、約1年間の準備活動を経て、2003年4月には、市民活動団体として、つるがしま里山サポートクラブが発足いたしました。

以来、設立当初の市民の森が、約8.0haであったものが、2005年には7箇所、約14.5haと増加し、市民一人当たり2.1㎡の面積となっています。

つるがしま里山サポートクラブは、市民の参加とあわせ地元企業、行政との協働活動を目指して活動してまいりました。

この市民(企業)、行政、土地所有者による三位一体の活動体制は、埼玉県「里の山守制度」として平成17年に条例化され、第一回認定団体として埼玉県に登録されることとなりました。

これを受け、つるがしま里山サポートクラブは活動の継続性を担保するため、任意(ボランティア)団体から、NPO団体へと組織基盤を変更いたしました。

本日は、NPO設立記念の講演会であり、ご参加いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。

特定非営利活動法人

つるがしま里山サポートクラブ

代表理事 小澤邦彦

理事 一同



あいさつ

- 1.鶴ヶ島サポートクラブの活動目標
- 2.これまでの活動記録
 - 2002
 - 2003
 - 2004
 - 2005
 - 2006

- 3.つるがしま里山サポートクラブの目標と3年間の実績評価
- 4.市民活動団体の連携と市民の参加へ向けて
- 5.未来への飛翔

表紙●写真
野点の会

子供フェステ
バル

桜

第6号市民の森

学童クラブ

1. 鶴ヶ島サポートクラブの活動目標

■活動目標

つるがしま里山サポートクラブは、身近な里山を通じて市民が、自然の大切さや恵みの大きさを体験学習し、自然の維持・保全活動を通じて会員相互の親睦とあわせ豊かな生活環境を維持できる体制作りを目指しています。このため、6つの目標を掲げています。

- ①里山の保全と活用を図り、人と自然のふれあいをつくる
- ②自然との交流により、森の多様な役割を学ぶ
- ③森を息づかせ、生物の多様な生息環境をつくる
- ④森に水を蓄え、地域の保水力を創造していく。
- ⑤森の生活文化を楽しむ
- ⑥地域や世代の交流を高める

50年代に人口が急増した鶴ヶ島市は、高齢者が急増する時代を迎えることとなりました。

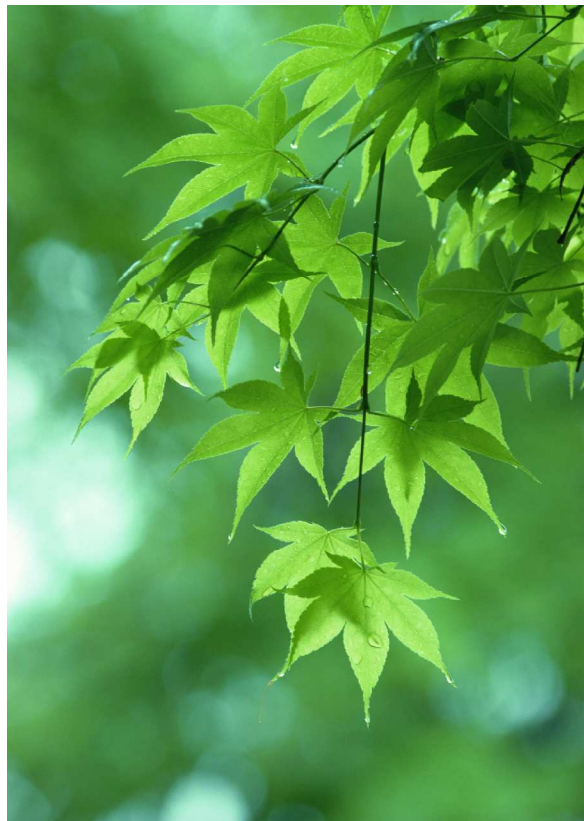
地域に関心を持つ高齢者の参加

を得て、里山の自然と関わり、人と人の関係、個と集団の関係を再確認していく中で、地域社会の再構築を図りたいと考えています。

また、子供たちに、自然と関わり、自然の大切さ、命の大切さなどを学習してもらいたいと考えています。

都市における樹林地(山林)は、開発適地のひとつとして見られ、里山の消失にさらされているのが現状です。開発のみならず相続時における開発などに対応できる仕組みなどが求められています。

残された自然資源(里山)を維持・保全する体制を都市住民として役割を果たせるシステムを市民全体で議論し、構築したいと考えています。



特定非営利活動法人 つるがしま里山サポートクラブ定款

第1章 総則

(名称)

第1条 この法人は、特定非営利活動法人つるがしま里山サポートクラブという。

(事務所)

第2条 この法人は、主たる事務所を埼玉県鶴ヶ島市内に置く。

(目的)

第3条 この法人は、市内及び近隣地域に残された樹林地(以下里山という)の保全・回復活動を通して、会員相互の親睦と良好な里山を未来に継承することにより、市民だれもが健康かつ安心して生活を継続できるまちづくりを推進していくことを目的とする。

(特定非営利活動の種類)

第4条 この法人は、次の種類の特定非営利活動を行う。

- ①環境の保全を図る活動
- ②子どもの健全育成を図る活動
- ③経済活動の活性化を図る活動
- ④職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動
- ⑤まちづくりの推進を図る活動
- ⑥社会教育の推進を図る活動
- ⑦保健、医療又は福祉の増進を図る活動
- ⑧学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動

- ⑨災害救援活動
- ⑩地域安全活動
- ⑪前各号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動



(事業の種類)

第5条 この法人は、第3条の目的を達成するため、次の事業を行う。

(1) 特定非営利活動に係る事業

- ① 人の手を必要としている里山の伐採、下草刈り、枝打ち等の維持管理に関する事業
- ② 里山の自然の恵みを通じた子ども達の健全育成事業
- ③ 間伐材などを活かした木材加工活動、技術開発等職業能力開発事業
- ④ 里山を活かしたレクリエーションによる市民団体との交流事業
- ⑤ 里山の調査・保全活動及び、環境の保全に関わる一切の事業
- ⑥ 里山を活用した健康づくりなど保健、福祉の増進事業
- ⑦ 間伐材などを活用した住宅改修及び福祉用具の開発、設置事業
- ⑧ 地域の安全安心に関わる事業

2002



2003



年次	月	活動日	里山保全作業	参加人員	
2002 (平成14年)	4月	21	活動に向けた準備会	19名	
	5月	25	高徳市民の森現地作業	26名	
	6月	15	高徳市民の森現地作業	16名	
	7月	13	高徳市民の森現地作業	25名	
	8月	24	高徳市民の森現地作業	22名	
	9月	28	今後の活動について	19名	
	10月	26	高徳市民の森現地作業	10名	
	11月	20	高徳市民の森現地作業	16名	
	12月	14	現地作業・バーベキュー	20名	
	2003 平成15年	2月	22	つるがしま里山サポートクラブ設立に向けて	12名
		3月	29	設立総会	15名
		4月	19	五味谷 竹の子廻り	38名
5月		17	うきうきの森での下刈作業	12名	
6月		1-30	環境フェアに参加		
		21	うきうきの森での下刈作業	18名	
7月		19	うきうきの森での下刈作業	21名	
8月		21	太田ヶ谷の運動公園で、障害者の皆様と、森を楽しむ会	18名	
		23	うきうきの森での作業	13名	
9月		20	きづきの森の皆様による森の安全講習会	21名	
		27	飯盛川での清掃作業		
			里山・里川シンポジウムプレイベント(荒川流域ネットワーク)	40名 250名	
10月		18	雨で中止	-	
11月		15	きづきの森の皆様による森の安全講習会、学童グループとの共同作業、芋煮会	18名 35名	
			里山・里川シンポジウムin鶴ヶ島	約150名	
	20	うきうきの森で年忘れ会	15名		
12月	21	高倉の森の活動 埼玉森林サポータークラブ	約40名		
2004(平成16年)	1月	17	うきうきの森で新年会	22名	
	2月	21	うきうきの森での活動	25名	
	3月	14	高倉の森での活動・安全活動講習会	48名	
		27	総会	12名	
	4月	10	筈パーティー	80名子供含む	
		17	清掃活動準備	60名	
		25	飯盛川清掃活動	100名	
	5月	8	子供フェスティバル	約150名	
		15	子供の森(炭焼き)	約15名	
	6月	3-6	白神ブナ林見学会	1名	
		19	民有地間伐	31名	
	7月	30	所沢三宮地区の皆様との視察	4名	
		3	市民の森撮影会	16名	
		17	民有地間伐		
	8月	5	学童クラブ	150名	
7		民有地間伐			
21		初ボラ体験会	18名		
9月	4	子供の森つくり			
	4	江戸の食文化	35名		
	18	民有地間伐	40名		

活動記録

2004

年次	月	活動日	里山保全作業	参加人員	
2004(平成16年)	10月	2	飯盛川清流復活大作戦	40名	
		16	竹の間伐	9名	
	11月	10	高尾山ハイキング	8名	
		17	地域の学校との連携	7名+9名+13名	
		20	竹の間伐と高倉のまちづくり	9名	
	12月	4	民有地間伐	13名	
		12	高倉国敷林民有地整備	23名	
		18	忘年会	28名	
	1月	9	竹炭作り準備	6名	
		22	竹炭焼き お汁粉新年会	27名	
29		竹材の運搬とハンマーナイフモア試運転	13名		
2月	11	桜植樹準備作業 ハンマーモア草刈り	18名		
	26	飯盛川 桜植樹	25名		
	27	市民活動交流会	1500名		
2005(平成17年)	3月	6	第2回 環境シンポジウム 出展	250名	
		12	前山の森 整備作業 竹炭作り	25名	
		19	竹炭の廻り出しと簡易製材機組み立て	16名	
		27	里山実態調査 報告会	8名	
	4月	2	定期総会	17名	
		10	旬汁 竹炭販売	150名	
	5月	8	こどもフェスティバル用竹馬作り	8名	
		14	こどもフェスティバル	300名	
	2006 平成18年	6月	4	野点準備 遊木の池視察	16名
			5	野点	45名
7月		18	炭焼き窯整備、NPO協議、草	15名	
		21	キャンドルナイト参加	32名	
		30	草刈	18名	
8月		20	草刈 ツリーハウス整備	12名	
9月		4	秋の食を楽しむ	35名	
		17	御神木囲い 井戸廻り	16名	
10月		1	飯盛川のごみ掃除	35名	
		8	森で遊ぼう、食べよう	46名	
	15	飯盛川の本材橋つくり	17名		
	29	大谷川清掃	8名		
	29	ブルーベリー植栽	19名		
11月	6	竹林間伐	6名		
	19	竹炭間伐	6名		
	26	鶴ヶ島第3回環境フェスティバル	200名		
12月	17	忘年会	21名		
	1月	22	7号の森	40名	
		28	6号の森で文化塾	25名	
	2月	4	東秩父遠征	9名	
		18	整備		
	3月	4			
		14	市民フェスタ		
	25	市民フェスタ			
	26	市民フェスタ			



2005



3. つるがしま里山サポートクラブの目標と3年間の実績評価

3年間の活動で、実現したもの、取り組み中、未着手の目標・問題・課題を整理しますと、次のとおりです。

1. 里山(雑木林)・水の調査・研究・提案

(ア) 里山分布図の作成

- ① ホームページを開設し、関心ある会員によるマップの作成
- ② ベースとして、最新の航空写真による森の分布を調査
- ③ 会員の調査による森・文化財の現況調査
- ④ つるがしま里山マップの作成・公表

市役所に里山マップを作成していただきました。その作成にも、当クラブは協力いたしました。調査の結果は、平成6年度の鶴ヶ島の里山は、149haあり、約三十年前423ha(緑の基本計画より)であったものが、284haも無くなったことがわかりました。これまでの減少が続けば15年もたないうちになくなってしまいます。

② 地区別会員の人のネットワーク

「市民の森」のPRを進め、会員、ファンクラブを拡充し、市民の森別の体制作りに取り組む。

2. 里山を維持・管理し、市民に利用してもらう

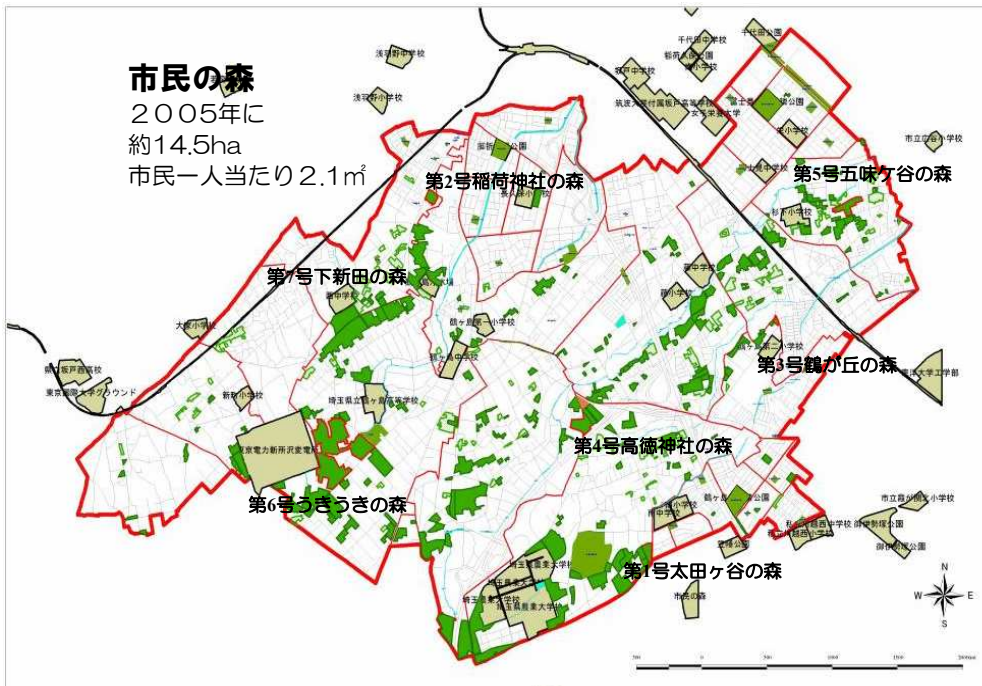
(ア) 樹林地の下草刈り、枝打ち

月一回の活動から始まりましたが、現在は、第一第二土曜日の二回を原則としています。また、他の市民活動の皆様との協働活動も合わせますと月3から4回の活動となっています。会員の自由な参加によって実施されています。

(イ) ごみ清掃など

飯盛川の清掃活動として年二回の活動を市民や流域の企業の皆様の参加により実施しています。今後、飯盛川の全体へ広

げていきたいと思っています。



(ウ) レクリエーション活動

① 竹の子、山芋堀り

毎年四月に五味谷の市民の森で竹の子パーティーを開催いたしました。しかし、市民の皆様へのPR効果が高すぎたのか、竹の子を無断でとる人が多く、新しい竹が不足し、竹林が老朽化しつつあります。節度ある採集が必要です。今後市民の皆様とご一緒に竹の子の採取条件などを議論していかなくては、竹林がだめになってしまう状態となってしまいました

② バーベキュー大会

森の維持活動やイベントに合わせて、開催しています。自然の中で食べる肉、野菜、ご飯はなんとおいしいことが、満喫しています。2006年に保健センターと協働で森の食事を開催しました。

(イ) 大谷川・飯森川の現況調査

- ① 市民・学校などの協力による調査
- ② 植生及び水量
- ③ 汚染状態

河川の汚染状態の調査は、荒川環境ネットとの連携で、鶴ヶ島の自然を守る会と協働で飯盛川の水質調査に参加しています。また、大谷川の現況については、鶴ヶ島環境ネットワークと協働で清掃活動や調査を行っています。今後も継続していきます。

今後、地域の学校と連携した活動に取り組みたいものです。

(ウ) 里山ネットワークの提案

- ① 市内の里山をグリーンネットワークとして系統付ける案の提案
- ② 地区別会員の人のネットワーク
- ③ 市民・企業・行政のネットワーク

ネットワークとして③の市民・企業・行政の協働体制及び地主さんとの協働作業を参考として、県の『里の山守制度』として、条例化されました。この連携活動は、比較的順調に機能していると思います。

今後の課題

- ① 市内の里山をグリーンネットワークとして系統付ける案の提案
緑の基本計画に基づき、飯盛川や大谷川の沿川地域の市民と協働して、遊歩道などのコース設定・整備に取り組む

③ 森の音楽会

実現できていません。2006年3月26日、市民フェスタで、五号の森の中のジャズフェスティバルを開催する予定です。是非参加してください。

④ その他

美しいモデルを囲んだ森の撮影会は開催いたしました。

3. 相続などによる里山の消失を防ぐこと

(ア) 里山の借地制度(長期的土地利用の担保)

約8haで始まった市民の森は、2005年に第7号まで増加し、面積14.5haとなっています。市民一人当たり2.1m²に当たります。新たに里山の地主さんへのご理解を深め、景観三法などを活用した、景観保全地区指定などの検討を進めていく必要があります。

(イ) 相続制度の改正要望

鶴ヶ島の市民の森は、20年以上の借地契約の場合、相続税の緩和制度があります。また、相続などに関連して、鶴ヶ島「緑の基金」などの活用や基金募集に協力していきたいと考えています。(ウ) 支援制度の検討

里山の支援制度は、法律、条令などで担保する必要があります。2005年度に、埼玉県では、『里の山守り』制度が条例化され、活動団体への補助制度が出来ました。初年度の認定団体として、つるがしま里山サポートクラブも指定されました。

4.市民活動団体の連携と市民の参加へ向けて

4. 里山を復元すること

(ア) 農家の協力による借地の確保
市の支援により、

地主さんのご協力による市民の森拡大活動を続けています。2005年度は1箇所拡大し、7号市民の森が出来ました。また、地主さんのご希望地で里山の維持活動をボランティアで取り組んでいます。

2005年度は、東秩父、日高の地主さんの要望による里山、山林の間伐、維持活動を行っています。

(ロ) 植林活動

①農地に苗木を育成。約3年必要であり、潜在植生樹種を中心に苗木の育成に取り組むと考えています。

②鶴ヶ島の里山は2次林が大部分であり、間伐を含めた維持活動が必要です。

③公共施設や森地に植林

記念日植林運動／誕生日植林運動等植林活動に関しては、未着手です。市民の森の中に、桜の植樹(日本花の会による80本の寄贈)ヤブルーベリーを植樹しました。

4. 環境保全に関する農村と都市との交流事業

未着手です。今後の取り組みが必要です。

(ア) 市民参加の森づくり教室の開催

(イ) 市民参加の野菜作り教室の開催

(ウ) 農産物の直売

鶴ヶ島の里山は、市民の皆様の手で支えていく必要があります。鶴ヶ島の緑を守るために、何ができますか。できることから始めませんか。



5. 環境学習への支援

里山は、生物相が非常に豊かであることや歴史的な景観であることなどから、さまざまな学習に最適な場所で、学校の授業で使える参考書やビデオの作成や講演

(ア) パンフレットの作成

未着手です。

森の中での自然学習は、命、生命力、自然の恵みなどを体験できる空間として、子供たちに体験してもらいたいとの思い、小中学校に働きかけていますが、色よい返事がもらえません。

現在、鶴ヶ島中学校の総合学習に協力しています。

また、学童クラブの参加を得て森の活動を行っています。子供たちとの約束から2年ぶりにツリーハウスを、作りました。遅くなってごめんなさい。

学童クラブ(ひまわりクラブ)	学童クラブのオリエンテーリング
鶴ヶ島環境ネットワーク	環境シンポジウム 大谷川清掃活動
鶴ヶ島の自然を守る会	水質調査
西公民館裏千家茶味会	六号市民の森の野点
東公民館	子供たちと流しそうめん
女子栄養大学	江戸の食文化から鶴ヶ島の環境を考える
荒川流域ネットワーク	平成16年シンポジウムイン鶴ヶ島
子供フェスティバル	竹馬検定
市民フェスタ2005、市民フェスタ2006	五味谷市民の森で、竹細工、豚汁の提供
市民活動推進センター	各種活動協力
保健センター	市民の森で楽しく・美味しくリフレッシュ
全国キャンドルナイト実行委員会	六号市民の森で開催

6. その他里山の保全活動

(ア) 他団体との交流と支援活動

鶴ヶ島の自然は市民の財産です。市民の皆様の手によって自然を守って生きたいものと思います。このため、他の市民活動団体との協働活動を心がけています。

連携している活動団体としては、次の団体と協働活動を行っています。

(イ) 周辺・近隣地域の皆様との交流

里山の保全維持活動は、鶴ヶ島市のみならず、近隣地域を含む活動が必要です。

会員のネットワークを駆使して、隣接市町村などの市民活動団体や里山の地主さんとの協働活動を実施しています。

これまで、埼玉県森林サポータークラブと共同作業や東秩父、バイオニアの森などでの活動を実施しています。

今後も、他地域の市民活動団体との交流を広げて生きたいと考えています。

皆様も、里山を体験してみませんか

5.未来への飛翔

○子供の心にかえる森(市民の森の活動)

NPOつるがしま里山サポートクラブの活動に参加して気がついたことですが、参加者の皆さんが子供に返っています。子供の頃に森で遊び家の手伝いをした経験のある方は、少しずつ昔を思い出して市民の森での活動を楽しんでいます。

自然に接することが、こんなに生き生きと、気持ちも元気になるなんて!!

森の体験のない方は、何にでも興味をもち、何か一つ出来るようになると満足感でいっぱいです。少しの経験の差はありますが、会員は、森の作業や自然との接し方について全員素人です。そのため、森の作業については、森林組合の作業員の方から指導を受けています。

丁寧な説明をうけ、実際にやってみると、一つ進歩したことが実感でき、目を輝かしています。本当に子供に返ったようで、自然を学び、これを通じて命の大切さを知り、新しい知恵を身につけることを喜びとしています。

○環境について

21世紀になり、CO2、化石資源の枯渇、食糧問題、水飢饉など、ますます環境の制約条件が高まり、循環型の経済や暮らしが求められるようになりました。地産地消に代表される地域の“もの・お金”を地域で、人の顔が見える生活が始まりと思います。

これは、人と人、人と自然の関係が大切で、お互いに理解し合い、認め合うことだと

考えます。

私たちの生活にとって基盤ともいえる自然への大切な思いが薄らいでいるのは、自然を体験しない人が増えたことと思います。行ったことがなく、見たことも触れたこともない自然は、自分に関係ないことですから大切に思うことはできないでしょう。同じように友達と一緒に遊ぶことがなくなると友達を大切に思う心は希薄になります。

環境問題を解決する一つの方法として、友達と、または家族と自然の中で思いっきり遊ぶことを提案します。じかに触れ合った経験が人を、自然を大切に思う気持ちをつくると信じます。人々が自然や人々に対する思いやりを持つことにより、私たちの未来の地域環境がよくなることを望みます。

○里山環境体験の提案

環境と、子供の未来の暮らしを考えると、自然にふれることが大切と考えます。NPOつるがしま里山クラブは、子供たちに教える知識は充分とはいえませんが、時間と自分たちの学習意欲は豊富にあります。

私たちと一緒に森作りに参加しませんか。「子供の笑い声があふれる森作り」というテーマで子供と小鳥と昆虫がいつぱいの森作りを目指しています。

高倉市民の森には、コンクリートで固めていない小川(飯盛川)が流れています。この飯盛川からゴミを拾い、自然浄化を導入する計画も進めています。いずれ蛍が飛び交う森にする夢も実現させたいものです。たとえば、各団体(学校等)毎に「鶴ヶ島小学校の森など」の名前を付けて10アールほ

どを割り振り、子供たちのデザインによる森作りを考えています。体力のいること危険なことは、つるがしま里山サポートクラブが手伝います。

子供たちは、想像力を働かし、仲間同士の話し合いで10年後の自分たちの森をデザインします。そのデザインを実現する過程で自然のことや、森を守る作業を学習することができます。自分たちの森を創造し、実現のための作業を経験し、森の変化を見守り続けることが学習提案です。これにより、動植物のいき物命、生きる自然の持つ命、大人になっても、自然を大切にすることを期待します。

○里山の役割の変化と保全システムの構築

鶴ヶ島の里山は、薪などエネルギーの確保の場、落ち葉による堆肥など畑の肥料を確保する場として、地域の生活にとってなくてはならない役割を果たしていました。

私たちの生活のエネルギーや肥料を石油に依存することにより、里山の経済的役割を終えてしまいました。

しかし、私たちの町では、緑を求める市民などが多く、都市の環境森としての役割を高めています。

この森が次の世代まで残されるためには、市民全体の支援に夜里山の保全体制作りが必要となっています。現在は、地主さんのご協力によって「市民の森」として利用させていただいていますが、市内にはまだ多くの里山が残されています。この里山を保全していくための体制を作り出していきたいと考えています。

鶴ヶ島の里山(緑)を残すことに参加しませんか。一人で出来なくても、みんなの力を合わせると出来ることが多いのです。出来ることから始めませんか。

会員になりませんか

正会員 議決権あり 2千円/年
個人会費議決権なし1千円/年
家族会費 2千円/年

原則、毎月第一、三土曜日の9:00~12:00を活動日としています。

特定非営利活動法人

つるがしま里山サポートクラブ



里山と川